

# 和歌山市地域福祉計画の策定に向けた 福祉施設及びNPO団体アンケート

和歌山市では、平成32年3月に「和歌山市地域福祉計画」の改定を予定しています。この計画は、市民の皆様が主体となり、各種団体・機関、事業者、行政などが力をあわせて、地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すために策定されるものです。

計画の改定にあたり、市民や各種団体へのアンケート調査、各地区で地域福祉に関する市民会議の実施を予定していますが、福祉関連施設やNPO団体の業務に従事されている方にもご意見を伺い、皆さまのお考えを計画づくりの基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

具体的には、今後改めてヒアリングの場を設け、直接皆さまの声をお聞きしたいと思っておりますが、そのためにまずこのアンケートをお答えいただくことで、現状と課題を把握し、当日のヒアリングをより深まったものにできればと考えています。

日頃の業務でお忙しいところ恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、後日のヒアリングも含めてご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

## ■記入にあたってのお願い

1. それぞれ該当する項目をご記入ください。
2. 質問に対するご意見がない場合は、その欄は空白のまましていただくか、「なし」とお書きください。
3. 問3以降については、「第3次和歌山市地域福祉計画」の内容を参照しながら回答をお願いします（和歌山市のホームページからダウンロードができます（検索番号「1001706」）。また、直接関係しない質問についても、和歌山市全体に関係するご意見として、できる限り、ご記入いただくようお願いいたします。すべてのご意見の集約を行いますので、できる限り簡潔にご回答ください。
4. 貴団体の取り組み内容がわかる既存の資料がある場合、1部ご恵与ください。

## ■調査票の返送方法

記入後は、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、●月●日（●曜日）までに郵便ポストに投函してください。

お問い合わせ先

和歌山市 福祉局 社会福祉部 高齢者・地域福祉課

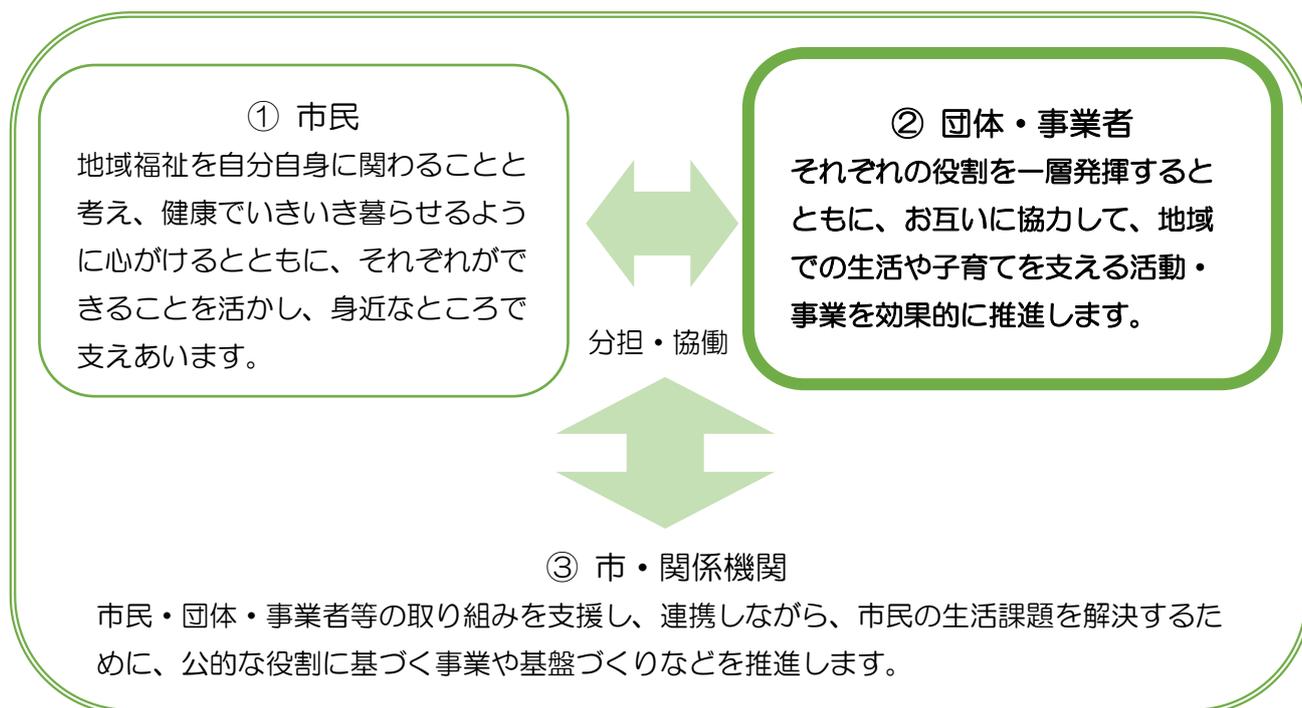
TEL：073-435-1063 FAX：073-435-1268

## 和歌山市の地域福祉推進の基本的な考え方について

地域福祉は、だれもが《地域》とつながりをもって、安心して心豊かに暮らしていけるように、《地域》のさまざまな力をあわせて、《地域》にあった福祉をつくることです。それは、“困りごと”が起きたときは支えられながら、それぞれが“したいこと・できること”で支えることを通じて、だれもが“元気”になることをめざした取り組みでもあります。

「わかやま・元気ふくし計画（第3次和歌山市地域福祉計画）」では、基本理念である「お互いを尊重し、支えあう“元気な福祉のまち”をわたしたちの“参加と協働”で創出します」の実現を目指し、わたしたち（市民、団体、事業者、市・関係機関等）はお互いを尊重し、ともに支えあう意識をもって参加し、各々の特長を活かして協働して、和歌山市らしい福祉を創出してきました。

また、市民、団体、事業者、市・関係機関等が、それぞれの特長を活かして協働し、和歌山市の地域福祉全体を効果的に推進していくよう、つぎのような「役割分担」を基本とし、一人ひとりが“したいこと・できること”を考えて取り組んできました。



はじめに、貴団体の概要について、お聞きします。

団体（組織）の名称	
取り組んでいる 事業内容	
ご記入者氏名	氏名： 連絡先（電話番号）：

地域福祉活動を進めるうえでの課題について、お聞きします。

問1. 活動や運営するにあたって、課題となっていることはどのようなことですか。  
(あてはまるもの3つに○)

<ol style="list-style-type: none"><li>1. 人材の確保が難しい</li><li>2. 活動の目的や方向性があいまい</li><li>3. 活動に必要な情報の入手が難しい</li><li>4. 活動のPRや情報発信、市民への周知が難しい</li><li>5. メンバーの高齢化（若い人が少ない）</li><li>6. リーダー（後継者）が育たない</li><li>7. 他の団体と交流する機会が乏しい</li><li>8. 活動場所（拠点）の確保が難しい</li><li>9. 活動資金の確保が難しい</li><li>10. 活動に必要な情報や専門知識が不足している（適当な相談者がいない）</li><li>11. その他（具体的 _____）</li><li>12. 特に困っていることはない</li></ol>
---

<問1で「12」以外を選んだ方にお聞きします>

問2. 上記の問1で○をつけた課題について、今後、課題を解決していくにはどうすればいいと思いますか。○を付けた番号を左枠に記入し、それぞれ解決策をご記入ください。


**問3.** 現行の「第3次和歌山市地域福祉計画」では、地域福祉の推進について、特に先導的に取り組む事項としてA～Fのプログラムを設定し、市民、団体、事業者等にも協働を呼びかけています。まずは、次の《プログラムA》から《プログラムF》をご覧ください。

なお、各取り組みの方向の後に「第3次和歌山市地域福祉計画」に記載されているページを示しています。

#### 《プログラムA》 地域での学習や話しあいの推進（P39 参照）

多くの人々が“したいこと・できること”で参加し、協働して地域福祉をすすめるためのきっかけのひとつとして、地域の課題や各々の“思い”を共有し、ともに話しあうことを通じて理解を深めながら、計画に掲げるさまざまな取り組みを具体的に推進する方策を考え、協力して実践していくよう、身近な地域で学習や話しあいをすすめます。

#### 《プログラムB》 災害時に支援が必要な人を支える取り組み（P40 参照）

南海・東南海地震をはじめ、大規模な自然災害などへの備えが一層重要になっています。だれもが関心をもつ“災害”をテーマとした取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進し、多くの人々の参加を得ながら、いざというときに支えあえる地域のつながりづくりや、支援が必要な人を支える体制づくりにつないでいきます。

#### 《プログラムC》 生活困窮者への支援の推進（P41 参照）

経済的な問題とともに、家族や地域などから孤立して生活に困窮している人などを、地域のかも活かして効果的に支援していくように、新たに始める「生活困窮者自立支援」の取り組みを、地域福祉の視点も含めて推進します。

#### 《プログラムD》 身近な相談窓口とネットワークの充実（P42 参照）

“困りごと”に気づいたときには、早めに相談し、適切な支援を受けることができるように、その人にとって身近なところで相談でき、どこに相談しても適切な支援につながるしくみを充実します。

#### 《プログラムE》 協働事業の担い手の養成（P43 参照）

介護保険制度が改正されて、要支援の人の訪問介護や通所介護は、市町村が地域の状況に応じて提供することになりました。多様な担い手の参加のもとで、より地域に密着した支援を行っていくことが求められています。このように、公的なしくみと市民の主体性を活かした活動がうまく協働し、必要とされるサービスを効果的に提供する体制を構築するよう、担い手を増やします。

#### 《プログラムF》 担い手や活動を支える体制の充実（P44 参照）

地域福祉活動は、参加する人の主体性を大切に活動ですが、第一歩を踏み出せるように呼びかけ、つないだり、専門的な視点で助言や支援などを行うことは、活動を継続・発展させていくうえで不可欠です。この計画を推進していくための地域福祉活動の広がりに対応し、きめ細かな支援を行っていくよう、体制の充実を図ります。

問3-1. 「《プログラムA》地域での学習や話しあいの推進」(P39 参照) については、どのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

- |                 |   |         |
|-----------------|---|---------|
| 1. 積極的に取り組んでいる  | } | 問3-1-1へ |
| 2. 少しは取り組んでいる   |   |         |
| 3. あまり取り組んでいない  | } | 問3-1-2へ |
| 4. まったく取り組んでいない |   |         |

<問3-1で「1または2」を選んだ方にお聞きします>

問3-1-1. この取り組みを進めるうえでの現状や問題点、課題についてお聞かせください。また、現状や問題点、課題の解決のために、どのように取り組めばよいと思いますか。

<問3-1で「3または4」を選んだ方にお聞きします>

問3-1-2. この取り組みを進めていない現状や問題点、課題についてお聞かせください。

問3-2.「《プログラムB》災害時に支援が必要な人を支える取り組み」(P40 参照) については、どのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 積極的に取り組んでいる  | } 問3-2-1へ |
| 2. 少しは取り組んでいる   |           |
| 3. あまり取り組んでいない  | } 問3-2-2へ |
| 4. まったく取り組んでいない |           |

<問3-2で「1または2」を選んだ方にお聞きします>

問3-2-1. この取り組みを進めるうえでの現状や問題点、課題についてお聞かせください。また、現状や問題点、課題の解決のために、どのように取り組めばよいと思いますか。

<問3-2で「3または4」を選んだ方にお聞きします>

問3-2-2. この取り組みを進めていない現状や問題点、課題についてお聞かせください。

問3-3. 「《プログラムC》生活困窮者への支援の推進」(P41 参照) については、どのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

- |                 |   |         |
|-----------------|---|---------|
| 1. 積極的に取り組んでいる  | } | 問3-3-1へ |
| 2. 少しは取り組んでいる   |   |         |
| 3. あまり取り組んでいない  | } | 問3-3-2へ |
| 4. まったく取り組んでいない |   |         |

<問3-3で「1または2」を選んだ方にお聞きします>

問3-3-1. この取り組みを進めるうえでの現状や問題点、課題についてお聞かせください。また、現状や問題点、課題の解決のために、どのように取り組めばよいと思いますか。

<問3-3で「3または4」を選んだ方にお聞きします>

問3-3-2. この取り組みを進めていない現状や問題点、課題についてお聞かせください。

問3-4. 「《プログラムD》身近な相談窓口とネットワークの充実」(P42 参照) については、どのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 積極的に取り組んでいる  | } 問3-4-1へ |
| 2. 少しは取り組んでいる   |           |
| 3. あまり取り組んでいない  | } 問3-4-2へ |
| 4. まったく取り組んでいない |           |

<問3-4で「1または2」を選んだ方にお聞きします>

問3-4-1. この取り組みを進めるうえでの現状や問題点、課題についてお聞かせください。また、現状や問題点、課題の解決のために、どのように取り組めばよいと思いますか。

<問3-4で「3または4」を選んだ方にお聞きします>

問3-4-2. この取り組みを進めていない現状や問題点、課題についてお聞かせください。

問3-5. 「《プログラムE》協働事業の担い手の養成」(P43 参照) については、どのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 積極的に取り組んでいる  | } 問3-5-1へ |
| 2. 少しは取り組んでいる   |           |
| 3. あまり取り組んでいない  | } 問3-5-2へ |
| 4. まったく取り組んでいない |           |

<問3-5で「1または2」を選んだ方にお聞きします>

問3-5-1. この取り組みを進めるうえでの現状や問題点、課題についてお聞かせください。また、現状や問題点、課題の解決のために、どのように取り組めばよいと思いますか。

<問3-5で「3または4」を選んだ方にお聞きします>

問3-5-2. この取り組みを進めていない現状や問題点、課題についてお聞かせください。

問3-6. 「《プログラムF》担い手や活動を支える体制の充実」(P44 参照) については、どのように取り組んでいますか。(それぞれ○は1つ)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| 1. 積極的に取り組んでいる  | } 問3-6-1^ |
| 2. 少しは取り組んでいる   |           |
| 3. あまり取り組んでいない  | } 問3-6-2^ |
| 4. まったく取り組んでいない |           |

<問3-6で「1または2」を選んだ方にお聞きします>

問3-6-1. この取り組みを進めるうえでの現状や問題点、課題についてお聞かせください。また、現状や問題点、課題の解決のために、どのように取り組めばよいと思いますか。

<問3-6で「3または4」を選んだ方にお聞きします>

問3-6-2. この取り組みを進めていない現状や問題点、課題についてお聞かせください。

## 今後充実してほしい施策について、お聞きします。

お互いを尊重し、支えあう“元気な福祉のまち”をわたしたちの“参加と協働”で創出するために、今後もっと充実してほしいと望む施策などについて、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

このアンケートを「返信用封筒」（切手は不要）に入れて、

●月●日（●曜日）までに郵便ポストに投函してください。